



平成 20 年 3 月 7 日

各 位

会社名 大同メタル工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 坂本 雅昭  
(コード番号 7245 東証・名証第 1 部)  
問合せ先 執行役員総務センター 玉谷 昌明  
TEL (052) 205-1401

## 欧州ビジネス拡大に伴う 関・第 2 工場建設のお知らせ

当社は、取締役会において、大同プレーンベアリング（株）（以下、「DPB」という。）の関・新工場に、生産設備の増強を図るため、関・第 2 工場の建設を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 理由（背景）

当社グループは、中期経営計画において、その副題である「トップ オブ ザ ワールド（世界 No.1 すべり軸受メーカー）」を目指して、事業展開を進めております。

このため、国内及び海外拠点体制の基盤の整備、拡充へ向け、「世界 4 極体制の構築」に取り組んでまいりましたが、当初目標の拠点体制づくりは概ね完了いたしました。

一方、海外ビジネスの拡大においては、世界最大の自動車生産地域である欧州を最重点地域として、予ねてより、現地自動車メーカーなどを中心に、積極的な拡販活動に取り組み、2002 年に念願の新規参入を果たしましたが、その後も、更なるビジネス拡大に向けて、ドイツに販売拠点を設け、続いて、販売統括会社をイギリスに設置し、人員増強やシステム構築など、販売体制の強化を図ってまいりました。また、それに加え、当社の、鉛フリー（鉛を使用しない）軸受の技術的優位性が、ディーゼルエンジンの比率が高く、使用条件の厳しい欧州において、より一層高まったことも、新たな欧州自動車メーカー等との取引に繋がりました。

これら、新規参入による海外ビジネスのほか、海外・国内を含めた既存取引の拡大と、今後の新たな需要予想を踏まえて生産対応を検討した結果、現在の DPB 関・新工場のみでは生産能力に不足が生ずることから、新たに、関・第 2 工場の建設に着手するものであります。

#### 2. DPB 関・第 2 工場の規模など

- |            |                            |
|------------|----------------------------|
| (1) 増設面積   | 約 10,000 m <sup>2</sup> 弱  |
| (2) 着工     | 2008 年 9 月（予定）             |
| (3) 完成     | 2009 年 2 月（予定）             |
| (4) 設備総投資額 | 約 27 億円（建屋、設備を含む総投資額）      |
| (5) 人員の増員  | 約 80 名増員（第 1 工場を除いて）       |
| (6) その他    | 犬山工場の自動車エンジン用軸受ラインは、全て移設する |

### 3. 生産能力

- (1) 対象製品 自動車エンジン用軸受（半割メタル）
- (2) 能力増強幅 DPB 関・第1工場のフル生産能力に対し  
2009年度で約20%、  
2011年度で約30%の能力増強を見込む

### 4. 今回の新規ビジネスの内容

- (1) 欧州新規参入自動車メーカー  
F i a t（フィアット）、P S A / B M W（プジョー・シトロエン / B M W）
- (2) 欧州既存取引自動車メーカー  
R e n a u l t（ルノー）より、新たに「複数機種」受注
- (3) アジア地域の新規自動車メーカー  
大手の複数社からの受注
- (4) 国内乗用車メーカー  
複数機種受注（純増受注）

- (注) 1. 受注製品の軸受は、全て、高性能「鉛フリー軸受」です。  
2. 国内、海外とも、顧客の都合により社名が発表できない会社があります。  
3. これで、欧州自動車メーカーとの取引は、ダイムラー、ボルボ・カー、  
フォード・UK、ルノーに次いで、7社となります。

### 5. 売上高への影響

今回の新規ビジネスによる、売上高の増加見込み額は次のとおりです。

- ・2009年度 20億円前後（年間）の増加
- ・2011年度 30億円前後（年間）の増加（ 累 計 ）

### 6. 業績への影響

2008（平成20）年3月期の業績への影響は、通期業績見込みに織り込まれておりますが、軽微であります。

以 上